年度	学年
2022	中2

教科	美術科
科目(授業名)	美術科
単位数	週2時間
区分	必修

授業概要	最初に取り組むのは「名画の模写」です。名画と呼ばれる絵画は、一番大切と言われる構図 (画面の構成) が完璧なものが多く、これを真似ることにより優れた構図を自分の中に落とし込むことができます。今後絵画を描く際に必要なスキルですから大好きな絵を利用して学びましょう。その他に遠近法を学び、透明感のある瓶を描く課題に取り組むことで、中3で行う自画像の準備を万端にします。また、工芸範囲ではガラス皿の柄デザイン、てぬぐいの連続模様のデザインを行い実際に制作していきます。難易度は高くなっていきますが、達成感のある取り組みにしていきましょう。
到達度目標	①目で見た対象の情報を正しく手に伝え、短時間で正確に描く(中級)。 ②名画から目標となる構図のあり方を学び、鑑賞能力を高める。 ③遠近法を身につける。 ④正しい彫刻刀の持ち方手を切らない彫り方を学ぶ。 ⑤透明感の表現方法を学ぶ。

教科書	「美術2・3上」光村	図書		
補助教材 参考図書など				
課題				
成績評価方法	絵画:拡大縮小構図模写 40%、着彩 30%、額デザイン 15%、額工作 15% 工芸:デザイン 20%、連続性 20%、カッター作業 10%、彫刻作業20%			
定期試験	前期中間	前期期末	後期中間	学年末

授業計画

学期	学習内容	備考
	名画の模写と額縁制作	完全模写の方法を学ぶ。構図を学ぶ。額縁のベース制作を同時に行う。 キャンパスへの下書きと着彩の指導。
	(前期中間試験 なし)	
	名画の模写と額縁制作 立体カード制作(教育実習)	名画の模写に合わせた額縁制作の指導。使用はカッターとのりのみに限定し、より特徴のある表現を模索させる。 開くと動きのあるカード制作。紙の特性を知り、生かした作品作り(クリスマスカード)を目指す。
	(前期期末試験 なし)	

	ガラス皿 サンドブラスト加工 一点透視図法を使った部屋を描く	カッターの使い方を完全にマスターさせる。 遠近法の一方法を学ぶ。
後期	(後期中間試験 なし)	
12 H)	瓶を描く レタリング 連続模様のデザイン	透明感のあるモチーフを絵の具で表現させる。 明朝体を学び、バランスの取れた文字の書き方をマスターする。 切れ目のない連続模様を制作するためにデザインを考え、彫刻刀の正しい持ち方彫り方を完全にマスターする。 手ぬぐいに連続模様をスタンプする。